

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	国語 3
科目基礎情報						
科目番号	101130		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	高等学校 現代文B (第一学習社)					
担当教員	野田 善弘,阿部 博臣,辻本 恭子					
到達目標						
1.小説を読み、自分の感想、考えを持ち、表現することができる。 2.評論文の確かな読解力を身につけ、要約文を書くことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	評論文を正確に読解でき、適切な要約文や説得力ある意見文を書いたり発表したりできる。		評論文を読解し、内容を理解できる。		評論文を読解できない。	
評価項目2	小説を読んで、自ら感想や考えをもつことができ、さらにこれを適切に表現できる。		小説を読んで、内容を理解し、感想や考えをもつことができる。		小説の内容を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
自己表現 (C) 問題解決能力・自己向上力 (D)						
教育方法等						
概要	本講義では現代文読解能力のさらなる充実を図るとともに、論理的に考え、表現する能力を獲得させる。また、これを通して日本語や日本文化についての教養を身につけることを目標とする。					
授業の進め方・方法	教科書に準拠して、配布プリント等で補い、授業を進める。					
注意点	国語1、2より高度な現代文を読む。読解力に磨きをかけるため、主体的に授業に参加し、しっかりと考え、積極的に発言してほしい。平常点になる提出物は必ず提出すること。授業をきっかけに自身の読書の多様化を図り、読書量を増やして欲しい。					
本科目の区分						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	評論 手の変幻 (清岡卓行)		1	
		2週	評論 手の変幻 (清岡卓行)		1	
		3週	小説 山月記 (中島敦)		2	
		4週	小説 山月記 (中島敦)		2	
		5週	小説 山月記 (中島敦)		2	
		6週	小説 山月記 (中島敦)		2	
		7週	小説 山月記 (中島敦)		2	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	詩 他	わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)	2	
		10週	詩 他	わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)	2	
		11週	詩 他	わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)	1	
		12週	評論	トランス・サイエンスの時代 (村上陽一郎)	1	
		13週	評論	トランス・サイエンスの時代 (村上陽一郎)	1	
		14週	評論	トランス・サイエンスの時代 (村上陽一郎)	1	
		15週	評論	トランス・サイエンスの時代 (村上陽一郎)	1	
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	評論 連帯という言葉の意味 (内山節)		1	
		2週	評論 連帯という言葉の意味 (内山節)		1	
		3週	評論 連帯という言葉の意味 (内山節)		1	
		4週	小説 タオル (重松清)		2	
		5週	小説 タオル (重松清)		2	
		6週	小説 タオル (重松清)		2	
		7週	小説 タオル (重松清)		2	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	評論 句を切る (長谷川權)		1	
		10週	評論 句を切る (長谷川權)		1	
		11週	評論 「である」と「する」こと (丸山真男)		1	
		12週	評論 「である」と「する」こと (丸山真男)		1	
		13週	評論 「である」と「する」こと (丸山真男)		1	
		14週	評論 「である」と「する」こと (丸山真男)		1	
		15週	評論 「である」と「する」こと (丸山真男)		1	
		16週	期末試験			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	3	前1,前2,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,後4,後6,後7
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	前1,前2,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	3	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,後4,後6,後7,後9
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,後4,後6,後7,後9
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,後4,後6,後7,後9
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	前1,前2,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0